学校番号	２０２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　明日の生活を築く（開隆堂）						
副教材等	家庭総合　明日の生活を築く　学習ノート（開隆堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよく生きるための知識や技術の習得に興味関心を持って積極的に取り組みましょう。

・衣食住など毎日の生活を科学的な側面からとらえ、労働や育児・介護などと地域社会の関わりが意識できるようにしましょう。
・自分の生活を考察し身近な人々の生活を観察しながら、実習などの実践的・体験的な学習活動も通じて、毎日の生活課題を見出すための基礎的な知識や必要な技術を身につけましょう。
・情報収集や分析・調べ学習などを行うことで、日常や社会の現状を知り今後の生活改善のめあてが立てられるようにしましょう。
・グループワークショップ、演習などの学習活動を行うことで、自分以外の人の意見を聞きながら、課題を自分ごととして結びつけましょう。
・学習したことをもとに、生活課題の解決に向けた努力をしながら、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

(1)人の一生と家族･家庭を取り巻く生活の営みに関して、主体的に営むために必要な科学的理解を得るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。
(2)生活の中から課題を見いだし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察を科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通じて課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　青年期	1　人の一生と青年期 2　自分らしく生きる 3　将来を考えながらこれからを生きる	a：生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について、情報の収集・整理が適切にできており理解している。 b：生涯を通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：生涯発達し続ける存在であることを理解し、青年期に必要な自立について考え、これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について主体的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
	2章　家族・家庭	1　自分が拓く人生 2　個人・家族と地域・社会 3　家族と法律 4　共生社会を生きる	a：家族が家族個人の発達に果たしている機能と社会に対して果たしている機能について、歴史的変化、文化や社会による特徴を理解している。 現代家族の特徴を理解し、婚姻、夫婦、親子などに関する法律の基礎的知識を理解している。 家庭生活を支える社会制度や社会福祉の基本的な理念について理解している。 b：家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察するとともに、家族・家庭と法律が密接な関係にあることをふまえ、多様な生き方、考え方のできる社会をつくることについて考察する。これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

			c：家族の多様性が尊重されることや家族一人ひとりの基本的人権が守られること、男女共同参画社会の実現について関心を持ち、自分の将来像やよりよい社会の在り方について興味を持って主体的・意欲的に取り組もうとしている。			
1学期	4章 高齢者	1 様々な高齢期 2 高齢者の生活を支える	a：高齢期の心身の特徴，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援について理解している。 b：高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c： 高齢者の生活や、社会的な支援の現状を知り、生涯を見通して高齢期をとらえ、自分の将来像として高齢期について興味を持ち、尊厳を守り共に生きることに主体的・意欲的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
2学期	ホームプロジェクト	生活上の課題を設定し，解決に向けて生活を科学的に探究したり，創造したりする	a：ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 b：自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。 c：積極的に生活の課題を見つけ、その改善方法を考えて意欲的に発表し、実践を振り返り、さらなる学習へとつなげようとしている。	ワークシート レポート	観察 ワークシート レポート （プレゼンテーション資料）	観察 ワークシート レポート （プレゼンテーション資料） 振返りシート

2 学 期	6 章 衣 生 活	1　被服の機能と着装 2　快適な被服の科学 3　被服の入手と管理 4　持続可能な衣生活 5　被服をつくる	a: 被服と人との関わり、日本と世界の衣文化、衣生活を取り巻く課題などについて理解をしている。被服の構成と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した衣生活の計画・管理に必要な情報を収集・整理し、衣生活の自立に必要な技能を身につけている。 b: 主体的に衣生活を営むことができるよう、目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について考察し工夫するとともに、これらについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c:時と場合、目的に適した着装や、健康で快適な衣生活、環境に配慮した衣生活について関心をもって考え、意欲的・体験的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題
3 学 期	8 章 消 費 生 活 と 持 続 可 能 な 社 会	1　消費社会を生きる 2　持続可能な消費生活	a: 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解している。生活情報の収集・整理が適切にできている。 持続可能な消費について理解するとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b: 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し、責任ある消費行動と安全で安心な消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決の力を身につけている。 c: 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や消費者の自立と支援、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、意欲的・体験的に取り組もうとしている。	テスト 学習ノート ワークシート	観察 テスト 学習ノート ワークシート 実習課題	観察 学習ノート ワークシート 振返りシート 実習課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度